

# 9月10日は 「下水道の日」

問下水道課（内線 263）

## 災害時の強い味方！ 知っていますか？ マンホールトイレ

私たちは普段、水道やトイレ、お風呂を当たり前のように使っていますが、天災や事故により、下水道が使えなくなると生活に大きな影響があるだけでなく、最悪の場合、命に関わることもあります。

毎日の快適な暮らしを支えている下水道事業の取り組みとして、マンホールトイレを紹介します。

### 避難所で大活躍！ マンホールトイレって？

大地震などの災害が起きて、断水により避難所のトイレが使えなくなったときに、下水道管に直結して設置する仮設のトイレです。

災害時にトイレが使えなくなると、衛生環境が悪くなるだけでなく、トイレに行く回数を少なくするために水分を控える人が多くなり、脱水症やエコノミークラス症候群、さらには災害関連死につながる可能性があります。

マンホールトイレは、災害時でも日常と同じようなトイレ環境を迅速に確保することができ、下水道管に直結して流すことができるので、衛生的な環境を保つことができます。

### 本市の整備状況は？

令和6年度までに、避難所となっている市内の小中学校など14校（市立小学校9校、市立中学校2校、府立高校3校）で整備が完了しており、今年度も新たに市立中学校4校で整備を予定しています。



### マンホールトイレの 組み立てに挑戦！

8月3日に実施された、「ジュニア防災リーダー養成講座」を受講した小・中学生にマンホールトイレの組み立てに挑戦してもらいました。



マンホールトイレについて勉強！

### 感想

- 災害時のトイレの大切さが分かった。
- 思っていたより簡単に組み立てられた。
- 自分の小学校にも設置されていると知ったので、災害が起きたらスムーズに組み立てたい。



高さを整えて、  
床板と便座を運び入れて完成！



便座を組み立てるよ！



天幕をかけていくよ！



骨組みを広げ、横幕を付けるよ！



下水道マスコット  
キャラクター  
スイスイ

「うんこドリル」シリーズと富田林市がコラボ！  
このたび、子どもたちにマンホールトイレについて知ってもらうと同時に、災害時のトイレの大切さを学んでもらうため、大人気シリーズ「うんこドリル」（株式会社文響社）とのコラボレーションにより、冊子を作成しました。  
この冊子は、小学生の皆さんに配布するとともに、下水道の普及啓発イベントなどで配布していきます。

